

資料 3－1

第2次安城市環境基本計画の 改定について



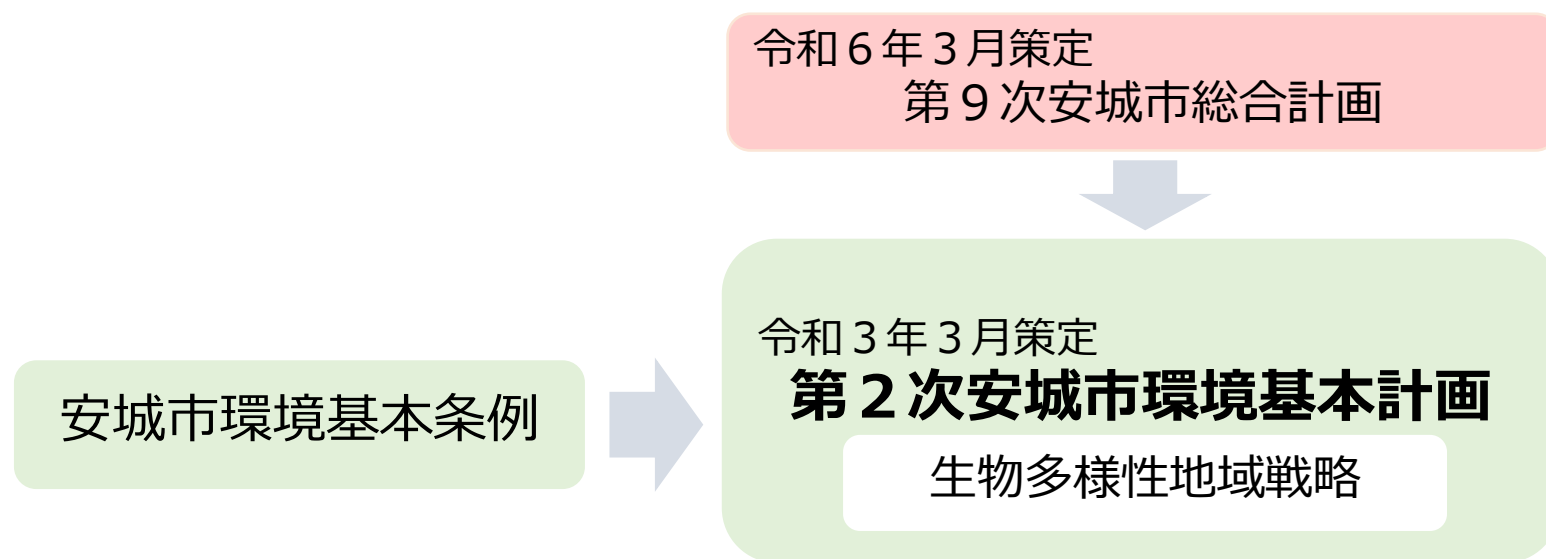
目次

- 1 計画改定について
- 2 計画の進捗状況
- 3 アンケート調査結果
- 4 改定案について
- 5 今後のスケジュール



1 計画改定について：計画の概要

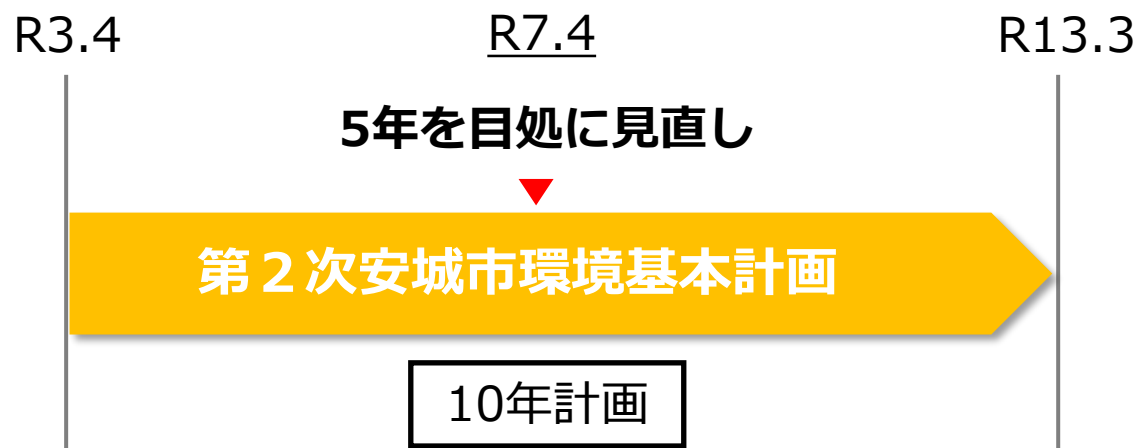
- 安城市環境基本条例に基づき、環境の保全と創造に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るために定めるもの。
- 生物多様性地域戦略を内包している。
- 計画期間は、令和3年度から令和12年度までの10年間。



1 計画改定について：改定の理由

○第2次安城市環境基本計画4ページ

「環境基本計画の計画期間は、令和3年（2021年）4月から令和13年（2031年）3月までの10年間とします。ただし、社会情勢の変化などを勘案し、概ね5年を目途に適宜改定を行います。」



計画期間の5年目にあたる令和7年度に改定を行う

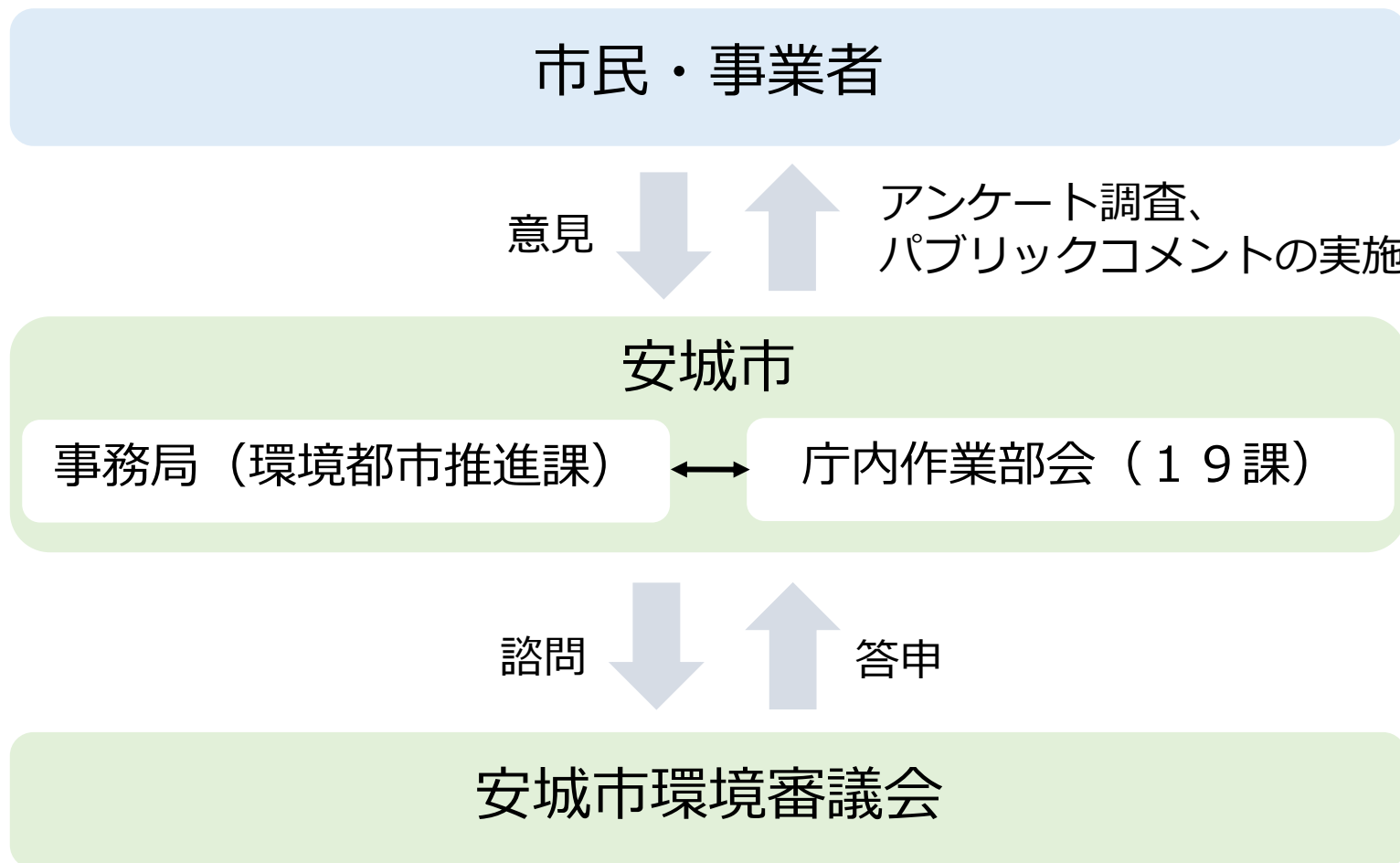


1 計画改定について：改定の視点

項 目	内 容
社会情勢の変化（国・県の動向）への対応	➤ 環境・経済・社会の統合的向上 ➤ 生物多様性に対する取組加速 ➤ 資源循環の促進 ➤ 気候変動対策の強化
第9次安城市総合計画との整合	➤ めざす都市像「ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 安城」 ➤ 子どもを核としたまちづくり
第2次安城市環境基本計画の進捗状況の反映	➤ 成果指標の推移 ➤ 市民・事業者アンケート



1 計画改定について：改定の体制



目次

- 1 計画改定について
- 2 計画の進捗状況**
- 3 アンケート調査結果
- 4 改定案について
- 5 今後のスケジュール



2 計画の進捗状況：柱1 生活環境保全

成果指標の推移



指 標	基準値 令和元年度 (2019年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	目標 令和12年度 (2030年度)
①大気環境基準達成率	100%	100%	100%	100%	100%	100%
②水質環境基準達成率	64%	79%	79%	79%	86%	100%
③道路騒音の要請限度達成率	100%	100%	100%	100%	100%	100%
④ダイオキシン類環境基準達成率	100%	100%	100%	100%	100%	100%

主な実施施策

- ①きれいな空気を保つ：大気汚染苦情処理対応、あんくるバス運行事業 等
- ②水環境を良くする：油ヶ淵浄化デー事業、合併浄化槽普及事業 等
- ③騒音・振動・悪臭などを防止する：環境保全協定、騒音・振動届出事業 等

・ いずれの指標も達成率が維持又は向上している。
⇒ 生活環境保全の指標は順調に推移している。



成果指標の推移



指 標	基準値 令和2年 (2020年)4月	令和4年 (2022年)4月	令和5年 (2023年)4月	令和6年 (2024年)4月	令和7年 (2025年)4月	目標 令和12年度 (2030年度)
①都市公園の面積	100.21 ha	102.28 Ha	102.88 ha	103.18 ha	105.76 ha	↑
②多面的機能活動対象区 域面積率	90.3%	91.2%	91.8%	91.7%	91.5%	↑
③多自然川づくり整備延 長距離	6,600m	6,600m	6,600m	7,200m	7,864m	↑

主な実施施策

- ①農地・水辺地を守る：農地等多面的機能促進事業、水田貯留事業 等
- ②樹木・草花を生み出す：樹林・樹木保全事業、緑化木配布事業 等

- ・ ①③の指標は増加傾向にある。
 - ・ ②は年度による増減があるものの、基準値以上を維持している。
- ⇒ 自然・都市共生の指標は、おおむね順調に推移している。



成果指標の推移



指 標	基準値 令和元年度 (2019年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	目標 令和12年度 (2030年度)
①1人1日当たりのごみ排出量	918g／ 人・日	903g／ 人・日	902g／ 人・日	863g／ 人・日	863g／ 人・日	↓
②最終埋立処分量	5,878 t	4,598t	4,840t	4,270 t	4,503 t	↓

主な実施施策

- ①ごみの発生を抑制する：生ごみ処理機設置補助事業、食品ロス削減事業 等
- ②リサイクルを推進する：ペットボトルリサイクル事業、資源再生化事業 等
- ③適正なごみ処理を行う：アダプトプログラム支援事業、不法投棄対策事業 等

- ・ ①の指標は減少傾向にある。
 - ・ ②については、年度による増減があるものの基準値と比較して減少傾向にある。
- ⇒ 資源循環の指標は、おおむね順調に推移している。



2 計画の進捗状況：柱4 地球温暖化対策

成果指標の推移



指 標	基準年度 平成25年度 (2013年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	目標 令和12年度 (2030年度)
温室効果ガス排出量	1,786千 t-CO2	1,673千 t-CO2	1,500千 t-CO2	1,520千 t-CO2	1,381千 t-CO2	959千 t-CO2

主な実施施策

- ①省エネルギーに取り組む：スマートハウス普及促進補助金事業 等
- ②再生可能エネルギーを活用する：廃棄物エネルギー地産地消事業 等
- ③ガソリンなどの使用量を減らす：次世代自動車購入費等補助金事業 等

・ 指標は、年度による増減があるものの基準値と比較して減少傾向にある。

⇒ 地球温暖化対策の指標は、おおむね順調に推移している。



目次

- 1 計画改定について
- 2 計画の進捗状況
- 3 アンケート調査結果**
- 4 改定案について
- 5 今後のスケジュール



3 アンケート調査結果：概要

【目的】

第2次計画策定時（令和元年度）からの市民や事業者の環境に関する行動や取組の変化を調査し、計画改定や施策推進の参考とする。

	市民行動調査	事業者取組調査
調査対象	18歳以上の安城市民1,600人（無作為抽出）	市内の事業所400か所（無作為抽出）
調査期間	令和7年5月7日～5月30日	令和7年5月7日～5月30日
回答方法	郵送又はウェブ	郵送又はウェブ
アンケート項目	・日常生活について ・生物多様性の認知度について ・自宅の再生可能エネルギー・省エネルギー設備について	・環境に対する取組について ・環境マネジメントシステムについて ・温室効果ガス排出量の把握について ・再生可能エネルギー・省エネルギーについて ・生物多様性の保全について ・SDGsについて
回収結果	回収数 623 回収率 38.9%	回収数 182 回収率 45.5%



➤ 日常生活について（買い物とごみ、電気や燃料等の節約、近隣や排水への配慮、自然との関わり）【資料3-2】P4～P13

- ・ 53取組のうち、多くの市民が「やっている」とみなすことができる
実行度3以上の取組は36取組（67.9%）で、約70%の取組を多くの
市民が実行できている
- ・ 令和元年度と比較すると、実行度が上昇した取組は21取組（39.6%）、
横ばいは23取組（43.4%）、低下は9取組（17.0%）で、全体的に
実行度は上昇または維持している
- ・ 実行度が低下した取組、実行度が低い取組に対する周知啓発が課題

実行度が低下した取組	実行度が低い取組
地域等の資源回収・清掃活動への参加、 すだれ・よしず等の利用、生ごみの堆肥 化、雨水や風呂の残り湯の再利用、等	生ごみの減量、自然に親しむイベント等 への参加、自然保護活動への参加 等



➤ 生物多様性の認知度について【資料3-2】 P14

- ・ 令和元年度と比較して認知度が向上
- ・ 「意味は知らないが聞いたことがある」と回答した人が最も多いことから、内容の理解が課題

➤ 再生可能エネルギー・省エネルギー設備の導入について【資料3-2】 P15～P16

- ・ クリーンエネルギー自動車、太陽光発電、蓄電池、エネルギー管理システム（HEMS）の導入が増加
- ・ 引き続き、補助金制度の周知等による普及啓発を実施



➤ 環境に対する取組について（省エネ・節電、社員の環境教育・行動、公害・地球温暖化への対応、省資源・リサイクル、自動車の運用）

【資料3-3】 P4～P13

- ・ 令和元年度と比較すると、49取組のうち、実行度が上昇した取組は14取組（28.6%）、横ばいは14取組（28.6%）、低下は21取組（42.9%）で、全体的に実行度が低下している
- ・ 事業者に対する環境意識啓発が必要
- ・ 実行度が低下した取組、実行度が低い取組に対する周知啓発が課題

実行度が低下した取組	実行度が低い取組
電気使用量等の記録、民間団体と協力した環境活動、雨水・中水利用、社員食堂での地産地消、フードバンクへの寄付 等	再エネ電力の契約、排熱の利用、社員の環境教育・行動、グリーン調達、雨水の利用 等



➤ 環境マネジメントシステムについて【資料3-3】 P14

- ・ ISO14001の導入が減少（全国的にも減少）
- ・ 「取得する予定はない」が増加
- ・ 環境マネジメントシステムの導入よりも、具体的な環境配慮が重視される方向にシフトしていることが影響していると考えられる

➤ 温室効果ガス排出量の把握について【資料3-3】 P15

- ・ 事業所の22%が温室効果ガス排出量を把握しており、そのうち削減目標を設定しているのは、約70%
- ・ 事業所の規模が大きいほど、温室効果ガス排出量を把握している割合が高くなっている
- ・ 中小企業に対する意識啓発が課題



➤ 再生可能エネルギー・省エネルギー設備の導入について【資料3-3】 P16～P18

- ・ 省エネ照明、クリーンエネルギー自動車の導入割合が高い
- ・ 導入割合に大きな変動なし
- ・ 引き続き、補助金制度の周知等による普及啓発が必要

➤ 生物多様性の保全について 【資料3-3】 P19～P20

- ・ すべての項目で取組を行っている割合が低下
- ・ 生物多様性の重要性についての意識啓発、市・市民と協働での行動機会の提供等が課題



➤ SDG s について【資料3-3】 P21

- ・「SDG s を知っている」と回答した事業所が約20%→約70%に大幅な増加
- ・約40%の事業所が社外への取組をすでに進めている一方で、約40%の事業所が「新たな対応は考えていない」と回答
- ・SDG s の取組に対するさらなる普及啓発が必要



目次

- 1 計画改定について
- 2 計画の進捗状況
- 3 アンケート調査結果
- 4 改定案について**
- 5 今後のスケジュール



4 改定案について：主な改定内容

改定の視点	改定のポイント
社会情勢の変化（国・県の動向）への対応	➤ 生物多様性の保全について明記 ➤ 循環経済の概念を反映 ➤ 気候変動適応策を施策に位置付け
第9次安城市総合計画との整合	➤ 文言の修正 ➤ こども向け概要版の作成
第2次安城市環境基本計画の進捗状況の反映	➤ 第2次計画は概ね順調に進捗していることから、理想とするまちの姿・計画の体系（4つの柱と1つの土台）・成果指標はそのまま



第1章 計画の基本事項

【資料3-4】 P1～P8

【現計画】

1. 計画策定の趣旨
2. 計画期間
3. 計画の位置づけ
4. 計画の主体と役割

【改定案】

1. 計画改定の趣旨
2. 計画期間
3. 計画の位置づけ
4. 計画の対象地域
5. 計画の主体と役割
6. 第2次計画の進捗状況
7. 改定の視点

- ・ 計画改定の内容に加筆・修正
- ・ 生物多様性基本法第13条第2項に基づき、計画の対象地域を追加



第2章 理想とするまち

【資料3-4】 P9～P14

1. 理想とするまちの姿

2. 4つの柱と1つの土台

- ・「地球温暖化対策」に**気候変動への適応**について追記



3. 各柱の関連性



第3章 施策の展開

【資料3-4】 P15～P25

1. 基本的施策

【1】生活環境保全

(1) 現状

- ・改定時の内容に本文・図・表を更新
- ・アンケート結果を更新

(2) 指標

- ・最新値（令和6年度実績）を追記

(3) 施策

①きれいな空気を保つ

- ・文言を一部修正

②水環境をよくする

③騒音・振動・悪臭などを防止する

(4) SDGs との関わり



第3章 施策の展開

【資料3-4】 P26～P32

【2】自然・都市共生

- ・ **生物多様性の保全**について追記
- ・ 環境豆知識の更新（**自然再興（ネイチャーポジティブ）**）

（1）現状

- ・ 改定時の内容に本文・図・表を更新
- ・ アンケート結果を更新

（2）指標

- ・ **生物多様性の保全**について追記
- ・ 最新値（令和6年度実績）を追記
- ・ 文言を一部修正

（3）施策

①農地・水辺地を守る

- ・ 文言を一部修正

②樹木・草花を生み出す

（4）SDGs との関わり



第3章 施策の展開

【資料3-4】 P33～P42

【3】資源循環

- ・ **循環経済の概念**を反映
- ・ 環境豆知識の更新（**循環経済（サーキュラーエコノミー）・プラスチック資源一括回収**）

（1）現状

- ・ 改定時の内容に本文・図・表を更新
- ・ アンケート結果を更新

（2）指標

- ・ 最新値（令和6年度実績）を追記

（3）施策

- ①ごみの発生を抑制する
- ②リサイクルを推進する
- ③適正なごみ処理を行う

- ・ **プラスチック資源一括回収の取組**を追記

（4）SDGs との関わり



第3章 施策の展開

【資料3-4】 P43～P53

【現計画】

【改定案】

【4】地球温暖化対策

- (1) 現状
- (2) 指標
- (3) 施策
 - ①省エネルギーに取り組む
 - ②再生可能エネルギーを活用する
 - ③ガソリンなどの使用量を減らす
- (4) 気候変動適応
- (5) SDGs との関わり

【4】地球温暖化対策

- (1) 現状
- (2) 指標
- (3) 施策
 - ①省エネルギーに取り組む
 - ②再生可能エネルギーを活用する
 - ③ガソリンなどの使用量を減らす
- ④気候変動に適応する**
- (4) SDGs との関わり

・ 気候変動適応を施策に位置付け



第3章 施策の展開

【資料3-4】 P43～P48

【4】地球温暖化対策

- ・ 気候変動適応について追記
- ・ 環境豆知識の更新（デコ活）

（1）現状

- ・ 改定時の内容に本文・図・表を更新
- ・ アンケート結果を更新

（2）指標

- ・ 温室効果ガス排出量の削減目標を2013年度比46%→**46%以上**に変更
- ・ 最新値（令和4年度実績）を追記



第3章 施策の展開

【資料3-4】 P49～P53

【4】地球温暖化対策

（3）施策

①省エネルギーに取り組む

- ・ **公共施設の省エネルギー化やデコ活**などの取組を追記

②再生可能エネルギーを活用する

- ・ **新たなエネルギーや技術の調査研究**の取組などを追記
- ・ 文言を一部修正

③ガソリンなどの使用量を減らす

- ・ **移動を減らす取組**を追記

④気候変動に適応する

- ・ **クーリングシェルターや水田貯留**などの取組を追記

（4）SDGs との関わり



第3章 施策の展開

【資料3-4】 P54～P56

【5】環境学習・環境行動

（1）施策

- ・ 文言を一部修正
- ・ **環境行動**の取組を追記

（2）SDG s との関わり



第3章 施策の展開

【資料3-4】 P57～P58

2. 計画の体系

(1) 体系図

・ 地球温暖化対策の施策に気候変動適応を追加

(2) 目標・状態・指標のまとめ

・ 指標に最新値を追加

環境負荷の少ない、人と自然が共生しているまち



環境学習・環境行動

- ① 情報を発信する・収集する
- ② 学ぶ・体験する
- ③ 行動する

第4章 計画の推進と進行管理

【資料3-4】 P59

・ 文言を一部修正

資料編

【資料3-4】 P60～

・ 改定の内容を反映
（次回の審議会にて提示）

1. 第2次安城市環境基本計画の改定経過
2. 安城市環境審議会委員
3. 用語解説



目次

- 1 計画改定について
- 2 計画の進捗状況
- 3 アンケート調査結果
- 4 改定案について
- 5 今後のスケジュール**



日 付	実 施 項 目
令和7年10月22日	【令和7年度第1回環境審議会】 第2次計画改定案（本編）の審議
令和7年12月4日	【令和7年度第2回環境審議会】 パブリックコメント案（本編・概要版・こども向け概要版）の審議
令和7年12月15日 ～令和8年1月15日	パブリックコメントの実施
令和8年3月17日	【令和7年度第3回環境審議会】 第2次安城市環境基本計画 改定版の答申
令和8年3月	第2次安城市環境基本計画 改定

